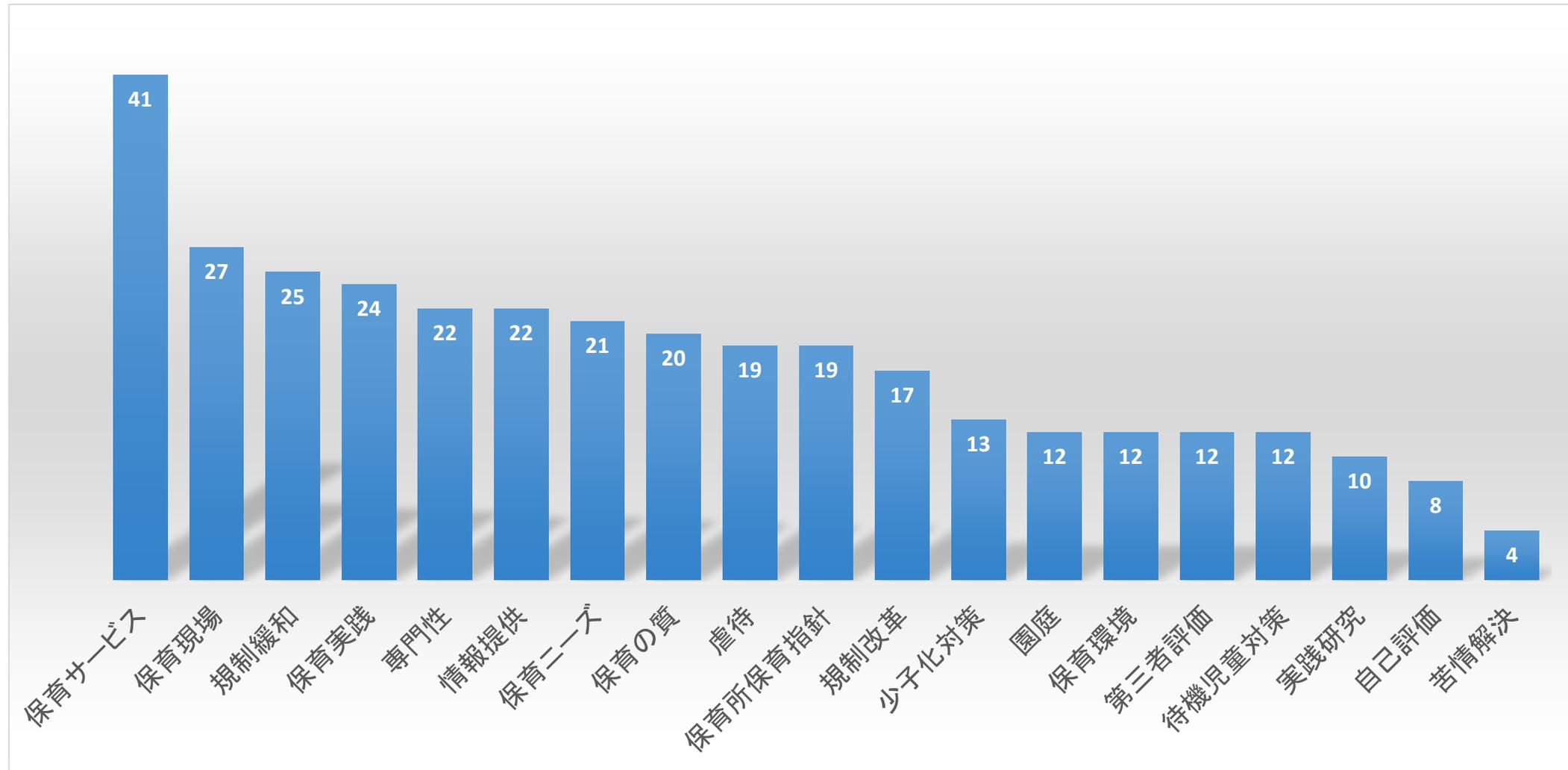


# 5 キーワードによる解説

(14ページ)

- ① キーワード頻度のグラフ化
- ② 各期ごとの傾向
- ③ 主要ジャンル内重要ポイントキーワード出現頻度をグラフ化  
その分析と解説

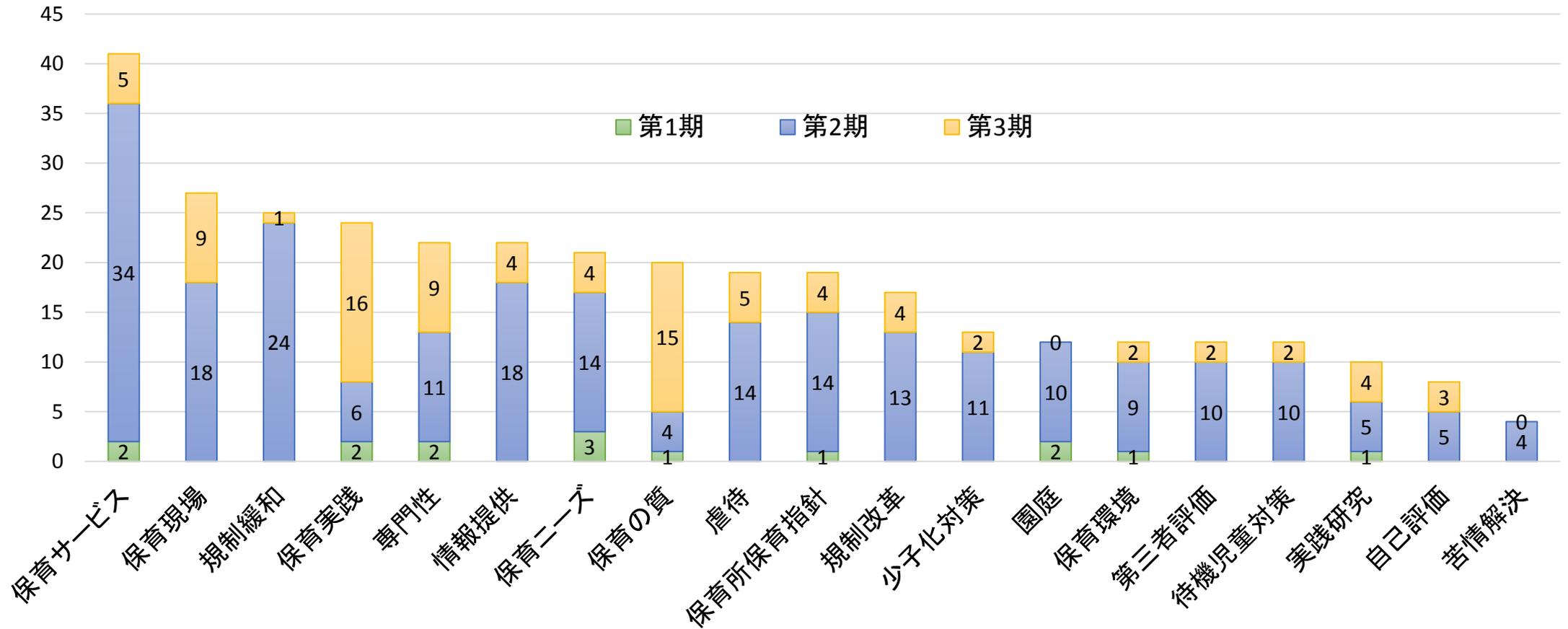
# 図1 研究概要でのキーワード使用ページ数



# 図1 研究概要でのキーワード使用ページ数

- 286頁の概要をベースにした検索コーナーを作成する際、重要と思われる19の「キーワード」が使用されたページを表示した。その使用された「キーワード」の頻度(ページ数)の多い順でグラフ化したものが図1である。
- 最も多く使用されたキーワードは、「保育サービス」41で、次に「保育現場」27、「規制緩和」25となっている。
- 保育制度の急変時代に「保育サービス」という概念が使用されるようになり、「規制緩和」という政策によって「保育現場」に影響を及ぼしたことにより、これらが調査研究の課題となっていたのであろう。

# 図2 各期キーワード使用ページ数



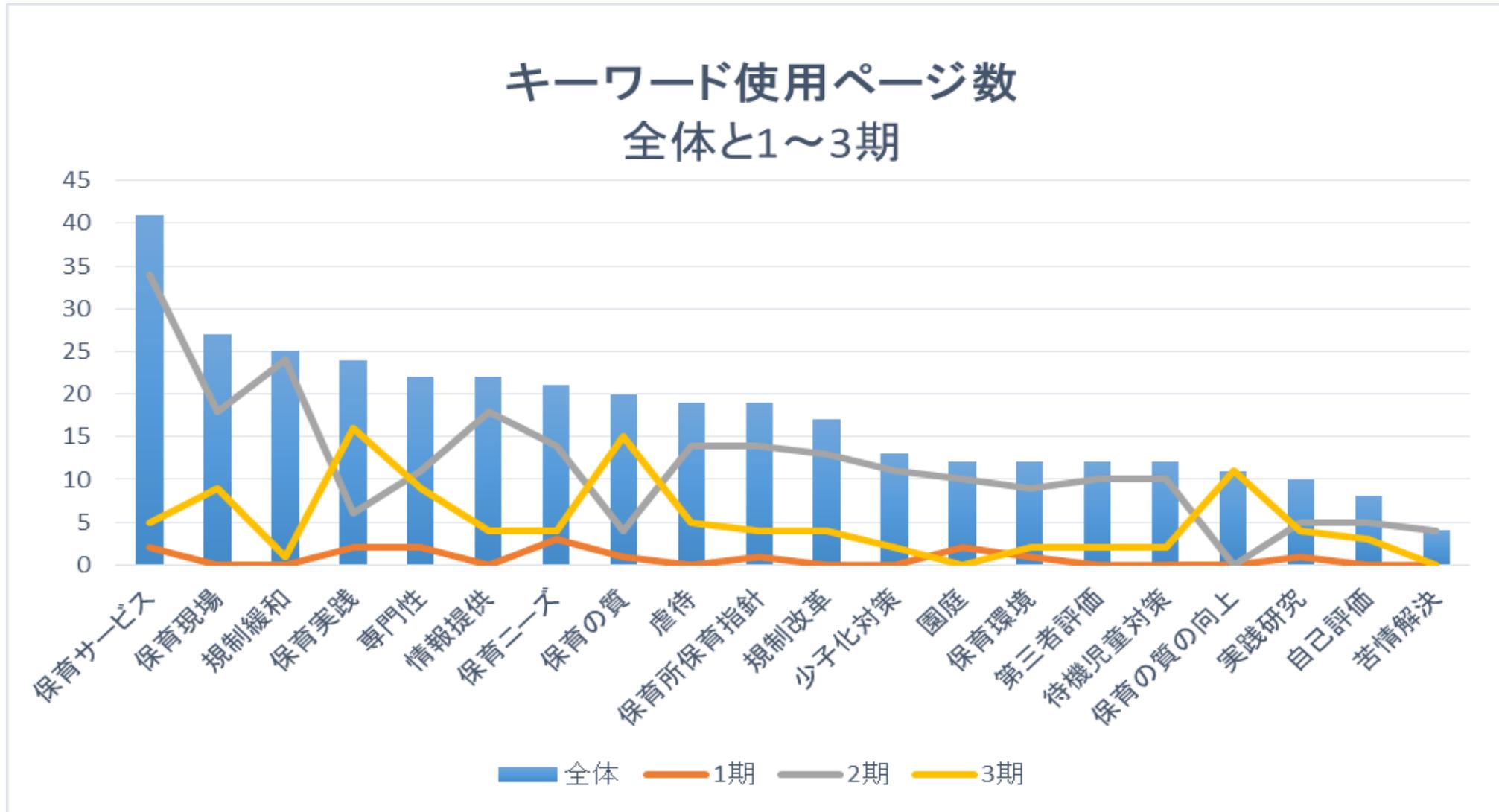
## 図2 各期キーワード使用ページ数

- 39年間の研究調査の概要を整理する過程で、  
第1期＝1979～1992年 第2期＝1993～2004年 第3期＝2005～2017年  
の3期に分類を行った。全部で286頁の概要のページを上記の3期に分けると下記のようになる。

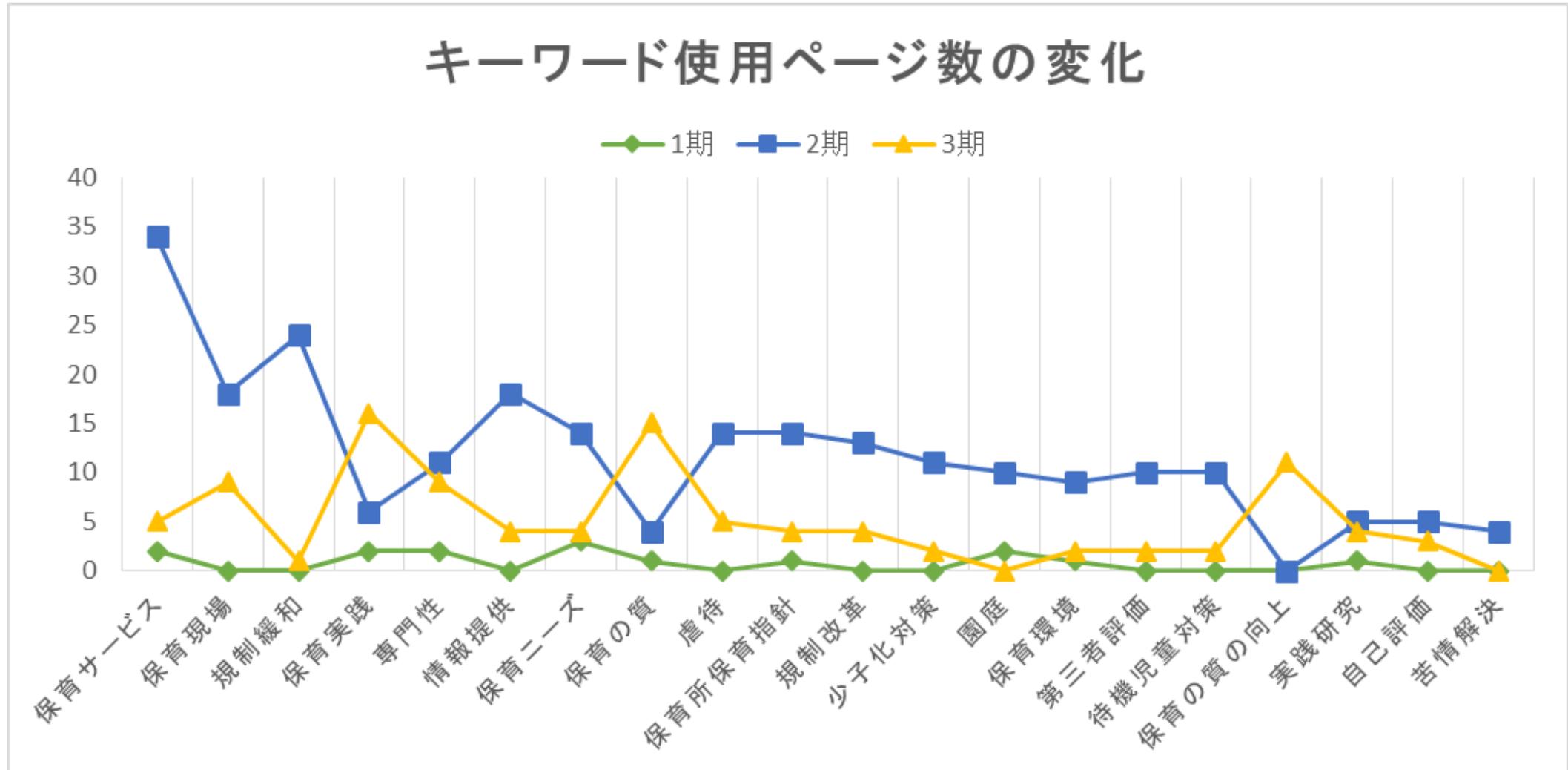
第1期＝P. 2～51 第2期＝P. 52～201 第3期＝P. 202～285

- 全体のキーワード使用ページ数を各期で区別したグラフが図2で示されている。
- 「保育の質」を見ると、第1期は1回だけ出現し、第2期は4回だけ、そして第3期は15回も出現していることがわかる。つまり「保育の質」を言葉として意図的に使いはじめたのが第3期であることがわかる。

# 図3 キーワード使用ページ数 全体と各期



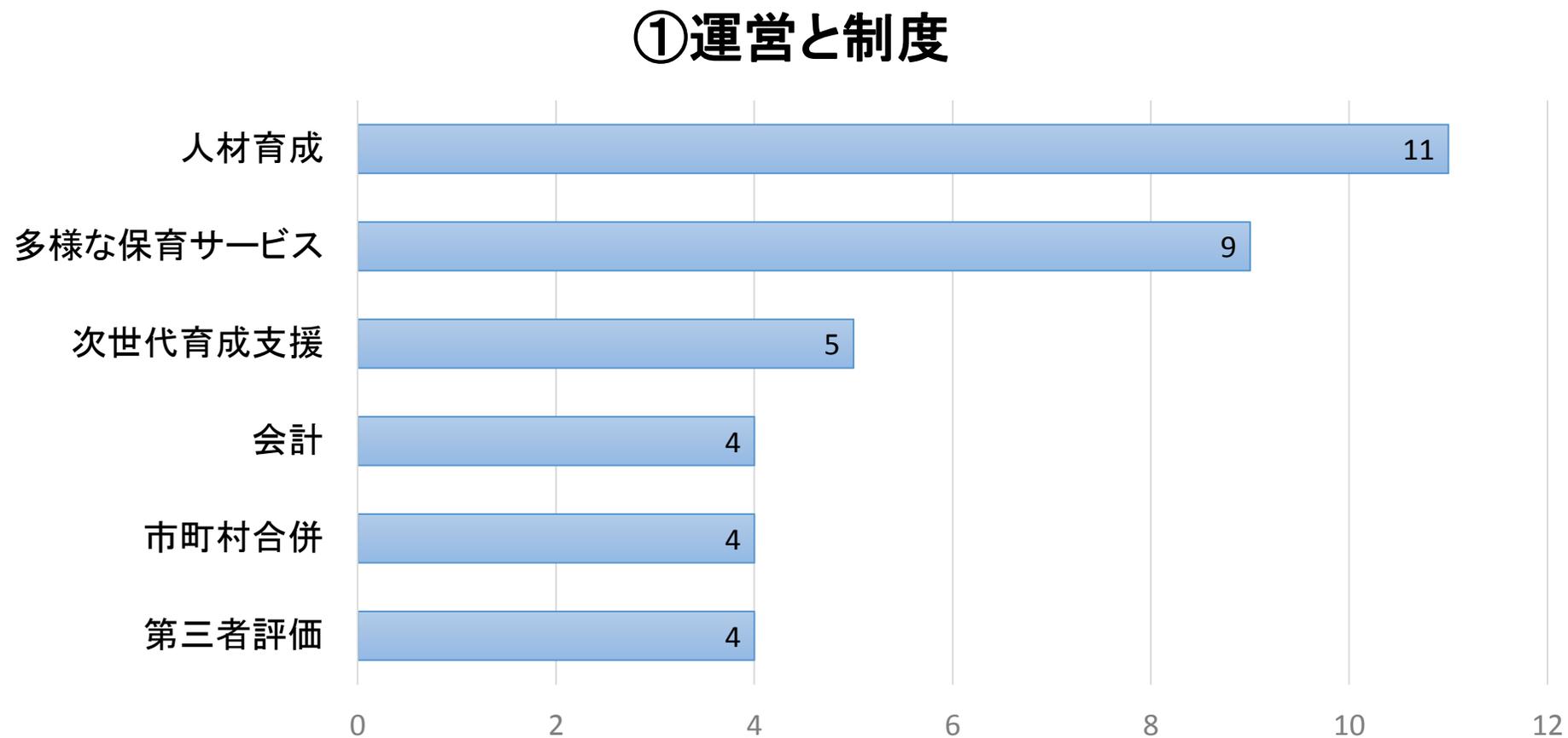
# 図4 キーワード使用ページ数



## 図3、図4 キーワード使用ページ数

- キーワードの使用ページ数の頻度を全体と各期の両方で示したのが図3である。各期のみを折れ線グラフで示したものが図4である。
- 「保育サービス」は全体として最も多く使われているキーワードであるが、使用されているほとんどは第2期の1993～2004年である。同様に「規制緩和」「情報提供」「虐待」などが多いのは第2期である。
- 第1期では、全体としてキーワードの頻度は少なく、第3期では「保育実践」「保育の質」などが多く使用されている。

# 図5 ジャンル別「山」(ポイントの高い要素)の数



## 図5 ジャンル別「山」(ポイントの高い要素)の数

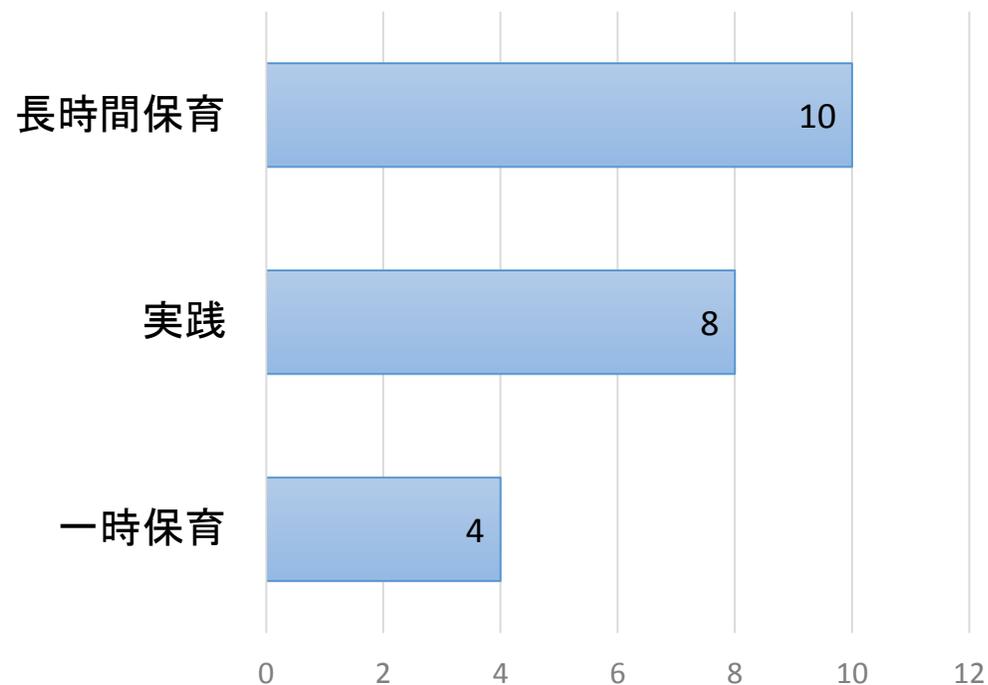
### ①運営と制度

- 37年間の研究調査のジャンルを12に分類した。12ジャンルのうち、多いのは①運営と制度(39件)、②保育内容(33件)、③保健(25件)、④子育て支援(21件)、⑤人材育成(13件)の5つである。この5ジャンルに絞って、それぞれの山(キーワード)の頻度を集計した。
- 運営と制度の山は、(1)人材育成、(2)多様な保育サービス、(3)次世代育成支援、(4)会計、(5)市町村合併、(6)第三者評価の6つである。その頻度の違いを示したのが図5であり、「人材育成」11回が最も多く、次に多いのは「多様な保育サービス」9回である。

# 図6 ジャンル別「山」(ポイントの高い要素)の数

## ③保健

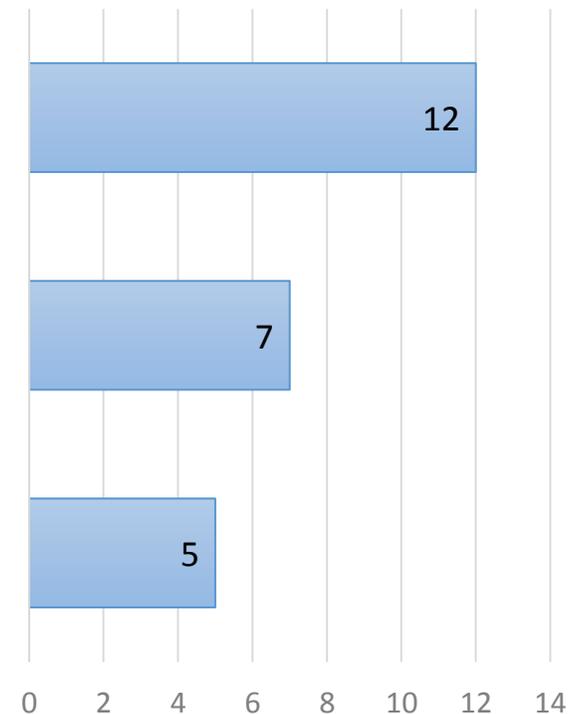
## ②保育内容



- ①身長、体重、胸囲、頭囲等
- ②健康状況、発達状況、疾病の状況
- ③1週間の生活状況

物的・人的条件整備で各年ごとの特集

健康管理・環境整備



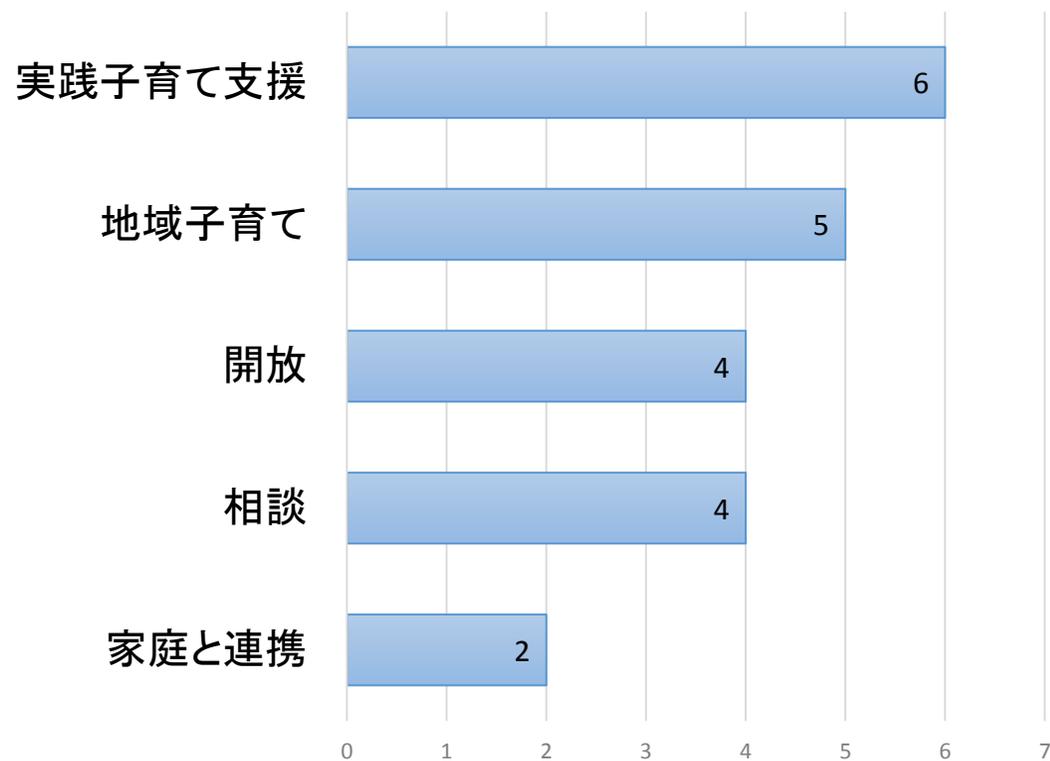
## 図6 ジャンル別「山」(ポイントの高い要素)の数

### ②保育内容 ③保健

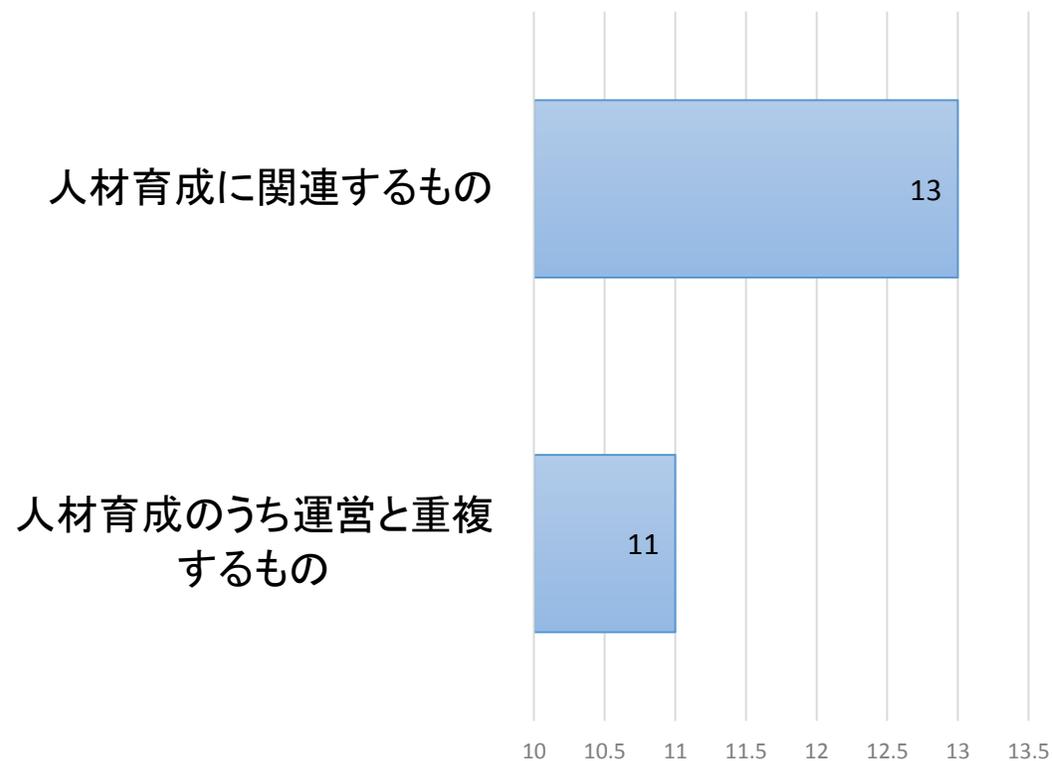
- 保育内容ジャンルの山は3つあり、(1)長時間保育、(2)実践、(3)一時保育である。このうち最も多いのは「長時間保育」10回で、次が「実践」8回である。図6－②
- 保健の山は、(1)「①身長、体重、胸囲、頭囲等②健康状況、発達状況、疾病の状況③一週間の生活状況」、(2)「物的・人的条回整備で各年ごとの特集」、(3)「健康管理・環境整備」である。  
このうち最も多いのは「①身長、体重、胸囲、頭囲等②健康状況、発達状況、疾病の状況③一週間の生活状況」12本である。図6－③  
※注)保健の山は、それぞれ(1)第1期の保育所入所児童健康調査、(2)入所児童健康調査以外の保育所保健、(3)第2期の保育所入所児童健康調査の3つの山に対応している。

# 図7 ジャンル別「山」(ポイントの高い要素)の数

## ④子育て支援



## ⑤人材育成



## 図7 ジャンル別「山」(ポイントの高い要素)の数

### ④子育て支援 ⑤人材育成

- 子育て支援ジャンルの山は5つあり、(1)実践子育て支援、(2)地域子育て、(3)開放、(4)相談、(5)家庭と連携である。このうち最も多いのは「実践子育て支援」6回で、次が「地域子育て」5回である。図7-④
- 人材育成の山は2つあり、(1)人材育成に関連するもの、(2)人材育成のうち運営と重複するものである。このうち多いのは「人材育成に関連するもの」13回である。図7-⑤